

福岡県医発第 86号 (地)

平成17年4月8日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 竹 嶋 康 弘



経済産業省「医療経営人材育成事業」におけるアンケート調査について

今般、経済産業省において診療所を対象に標記アンケート調査を実施する旨、日本医師会より通知がありました。

日本医師会では、本調査は、必要以上に難易度が高いため、有効回答がごく少数であった場合等で診療所の経営について誤った認識を与えかねず、また、医療を成長産業として捉える経済産業省の政策に反映されることになり、同調査について協力する意思はないとしております。

本会といたしましても平成17年4月7日開催いたしました第1回全理事会にて協議の結果、協力しないと決定いたしましたので、お知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに貴会管下診療所への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 蒲池 壽



(地Ⅰ249)

平成17年3月31日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

三 上 裕



経済産業省「医療経営人材育成事業」におけるアンケート調査について

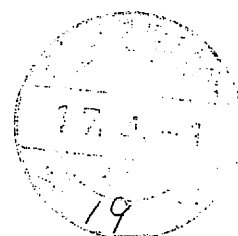
時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、経済産業省では、診療所を対象に標記のアンケート調査を近日中に実施する予定です（病院に対する同様の調査は、先日既に実施されております）。

しかしながら、同調査の内容は必要以上に難度が高く、質問を十分に理解しないで回答を行ったり、有効回答がごく少数であったりした場合には、診療所の経営について誤った認識を与えかねません。同調査は、医療を成長産業として捉える経済産業省の政策に反映されることとなりますので、慎重な対応が必要と存じます。

本会といたしましては、病院に対するものも含め、同調査について関知しておらず、また協力する意思もございません。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくとともに貴会管下診療所への周知方につきご高配のほどよろしくお願い申し上げます。



「医療経営人材育成事業」におけるアンケート調査について（案）

平成 17 年 3 月 日
経 済 産 業 省

1. 「医療経営人材育成事業」の概要

健康・医療サービス事業において、非営利事業として地域医療にこれまで以上に貢献して頂く観点からも、高度化、活性化していくことが重要です。

本事業は、教育プログラムの充実を図り、医療実務に精通しつつ、経営技術にも通じた、的確なサービスマネジメントを行う人材の育成を図るものです。

2. アンケート調査

① 調査目的

地域医療を担う医療機関の経営人材に関するニーズを可能な限り詳細に把握し、「医療経営人材育成事業」をより効果的に実施することを目的とします。

② 調査対象

診療所をはじめとする医療機関から約 2, 7 0 0 施設を抽出

③ 調査事項

医療機関の直面する課題に対する解決策を提供するという実効性の高い事業にする観点から、医療機関の基本戦略、経営課題、ニーズの高い経営技術等、について調査します。

④ 回答方法及び留意点

まとめられた結果につきましては、上記の目的以外で使用することはありません。まとめられた結果を公表することも有り得ますが、あくまで全体的な状況であり、個々の医療機関名及び個々のデータは一切公表することはありませんので、あらかじめご了承下さい。

1. はじめにお聞かせください。

1-1. 貴院についてお聞かせください。

(1) 開設者について (当てはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-------------------|-----------------|--------------------|------------|
| 1. 厚生労働省 | 2. 文部科学省 | 3. 独立行政法人労働者健康福祉機構 | 4. その他 (国) |
| 5. 都道府県 | 6. 指定都市 | 7. 市 | 8. 町村 |
| 9. 組合 | 10. 日赤 | 11. 済生会 | |
| 12. 厚生連 | 13. 北海道社会事業協会 | 14. 国民健康保険団体連合会 | |
| 15. 全国社会保険協会連合会 | 16. 厚生年金事業振興団 | 17. 船員保険会 | |
| 18. 健康保険組合及びその連合会 | 19. 共済組合及びその連合会 | 20. 国民健康保険 | |
| 21. 公益法人・社会福祉法人 | 22. 医療法人社団 | 23. 医療法人財団 | 24. 特定医療法人 |
| 25. 特別医療法人 | 26. 個人 | 27. 学校法人 | 28. 会社 |
| 29. その他の法人 (| | |) |

(2) 病床の有無について (当てはまるもの1つに○)

- | | |
|-------|----------------------|
| 1. 無床 | 2. 有床 (床) |
|-------|----------------------|

(3) 標榜診療科目について (当てはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|------------|----------------|---------------|-----------|------------|
| 1. 内科 | 2. 呼吸器科 | 3. 消化器科 (胃腸科) | 4. 循環器科 | 5. 小児科 |
| 6. 精神科 | 7. 神経科 | 8. 神経内科 | 9. 外科 | 10. 整形外科 |
| 11. 形成外科 | 12. 美容外科 | 13. 脳神経外科 | 14. 呼吸器外科 | 15. 心臓血管外科 |
| 16. 小児外科 | 17. 産婦人科 | 18. 産科 | 19. 婦人科 | 20. 眼科 |
| 21. 耳鼻咽喉科 | 22. 気管食道科 | 23. 皮膚科 | 24. 泌尿器科 | 25. 性病科 |
| 26. 肛門科 | 27. リハビリテーション科 | 28. 放射線科 | 29. 麻酔科 | 30. 歯科 |
| 31. 矯正歯科 | 32. 小児歯科 | 33. アレルギー科 | 34. 心療内科 | 35. リウマチ科 |
| 36. 歯科口腔外科 | | | | |

(4) 外来患者数および入院患者数のおおまかな数について (概数をご記入ください)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 外来延べ患者数 (1日あたり約 人) |
| 2. 入院延べ患者数 (1日あたり約 人) |

(5) 貴院の所在について

① 所在する都道府県 (当てはまるもの1つに○)

- | | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|--------|---------|
| 1. 北海道 | 2. 青森 | 3. 岩手 | 4. 宮城 | 5. 秋田 | 6. 山形 | 7. 福島 |
| 8. 茨城 | 9. 栃木 | 10. 群馬 | 11. 埼玉 | 12. 千葉 | 13. 東京 | 14. 神奈川 |
| 15. 新潟 | 16. 富山 | 17. 石川 | 18. 福井 | 19. 山梨 | 20. 長野 | 21. 岐阜 |
| 22. 静岡 | 23. 愛知 | 24. 三重 | 25. 滋賀 | 26. 京都 | 27. 大阪 | 28. 兵庫 |
| 29. 奈良 | 30. 和歌山 | 31. 鳥取 | 32. 島根 | 33. 岡山 | 34. 広島 | 35. 山口 |
| 36. 徳島 | 37. 香川 | 38. 愛媛 | 39. 高知 | 40. 福岡 | 41. 佐賀 | 42. 長崎 |
| 43. 熊本 | 44. 大分 | 45. 宮崎 | 46. 鹿児島 | 47. 沖縄 | | |

②所在する市区町村（具体名をお書きください）

（ 市・区・町・村 ）

1・2. 医療経営に関する貴院の意向をお聞かせください。

（1）医療機関の経営方針に関する以下のキーワードのうち、貴院がもっとも重視するものはどれですか。

（当てはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------------------|--|-------------------|
| 1. 地域連携型医療の展開（病診連携、診診連携） | 2. 専門領域への重点特化 | |
| 3. かかりつけ医機能の強化 | 4. ケアミックスの展開 | 5. 疾病予防・健康管理事業の強化 |
| 6. 介護・福祉サービスの展開 | 7. その他（ ） | |

（2）患者本位の医療を実現する上で貴院がもっとも重視するものはどれですか。（当てはまるもの1つに○）

- | | | |
|----------------------------|--|-------------------|
| 1. 診療体制・医療水準を高めるための経営基盤の確保 | | |
| 2. 患者への説明と同意を重視した医療の提供 | 3. エビデンスを重視した医療の提供 | |
| 4. 医療安全の確保 | 5. 快適な療養環境・接遇の提供 | 6. 医療技術革新への積極的な対応 |
| 7. 個人情報保護の徹底 | 9. その他（ ） | |

2. 貴院における重要検討事項についてお聞かせください。

以下に挙げた医療機関の経営において重要と思われる検討事項について、貴院にとっての重要度に応じた順位づけを行ってください。

医療機関の経営において重要と思われる検討事項	回答欄 ※重要度に応じて 順位を記入
1. 事業の再構築 (※得意分野への重点特化、かかりつけ医機能の強化、ケアミックス化など)	
2. 収支の改善 (※患者数・診療単価の改善、人件費の適正化、材料費の削減など)	
3. 質の管理の強化 (※ISO 認証取得、患者満足度の管理、クリニカルパスの導入など)	
4. 診療体制の強化 (※診療スタッフの強化、他の診療所・病院との連携強化など)	
5. リスク管理の強化 (※財務状況の悪化、医療訴訟の発生、社会的信用の低下等のリスクへの対応強化など)	
6. 技術革新への対応、施設・設備・機器・ITの整備 (※新医療技術の導入、建物の新築・増改築、設備・機器の更新、電子カルテの導入など)	
7. 資金調達の強化 (銀行からの資金調達、医療機関債の発行、診療報酬の債権化など)	

3. 事業の再構築に関してご意見をお聞かせください。

3-1. 以下に挙げた事業再構築のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに〇)

具体的施策		貴院で実施し十分な成果をあげている	貴院で実施しているが十分な成果をあげていない	貴院において必要性がないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
1. 診療機能の見直し	(1) プライマリーケア・かかりつけ医機能の強化				
	(2) 専門診療分野の再検討 (※診療科構成の見直し、特定疾患・部位に対応する専門診療機能の整備など)				
	(3) 診療形態・機能連携の再検討 (※共同クリニック・連携型クリニックの展開など)				
	(4) 外来・入院機能の重点化の再検討 (※日帰り手術の充実、療養型施設の整備など)				
2. 医療以外への事業展開	(5) 疾病予防・健康管理事業の強化 (※健診、人間ドック、健康教育の強化など)				
	(6) 介護・福祉サービスの展開 (※通所介護施設、介護老人保健施設の開設など)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。(当てはまるもの1つに○)

1. 有効である 2. 有効とは考えていない（理由： _____）

3-2. 以下に挙げた事業の再構築に関係する知識・ノウハウについて、「貴院に必要な知識・ノウハウ」、および、「貴院に必要であるにもかかわらず不足していると思う知識・ノウハウ」はどれですか。(当てはまるものすべてに○)

事業の再構築に関係する知識・ノウハウ	(イ) 貴院に必要な知識・ノウハウ	(ロ) 必要であるにもかかわらず貴院に不足していると思う知識・ノウハウ
a. 全体経営戦略の構想立案（地域医療の俯瞰とそれに基づく最適な戦略構築）		
b. 個別事業計画の立案（事業内容・スケジュールの立案、投資・資金回収計画）		
c. マーケティング・スキル（関連情報の収集・分析、関連調査の実施）		
d. 計画実行スキル（計画管理、対外交渉など）		
e. 資金調達スキル（資金調達スキーム立案、対外交渉）		
f. その他（ ）		

4 収支の改善に関してご意見をお聞かせください。

4-1. 貴院の過去数年間の経営状況に関してお聞かせください。

1. 良好である 2. 悪化しており、打開策を実施中である
3. 悪化しており、打開策を模索中である 4. その他 ()

4-2-1. 以下に挙げた収支改善のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに○)

具体的施策		貴院で実施し十分な成果をあげている	貴院で実施しているが十分な成果をあげていない	貴院において必要性がないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
1. 増収	(1) 地域連携による適正患者数の確保 (※紹介の強化、訪問看護の実施など)				
	(2) 地域におけるPRの推進 (※ホームページの充実など)				
	(3) 患者受け入れ体制の強化 (※診察・処置・検査の受け入れ体制強化など)				
	(4) 診療単価の向上 (※検査の集中実施など)				
	(5) 制度変更への対応、保険診療外の収入確保など (※各種加算の見直しへの対応、健診・人間ドックの強化など)				
	(6) 請求業務の改善 (※請求漏れ・査定減チェック体制強化、未収金回収強化)				
2. 費用削減	(7) 材料費の削減 (※品目管理・在庫管理・消費管理の強化、購入価格の低減など)				
	(8) 人件費の適正化 (※人事・給与の見直しなど)				
	(9) 光熱水費の削減 (※エネルギー設備の点検・見直し、省エネタイプの機器の導入など)				
	(10) 委託費の適正化 (※業務内容・価格チェック、定期的な業者の見直しなど)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。(当てはまるもの1つに○)

1. 有効である	2. 有効とは考えていない (理由:)
----------	----------------------

4-2-2. 以下に挙げた収支改善に関係する知識・ノウハウについて、「貴院に必要な知識・ノウハウ」、および、「貴院に必要であるにもかかわらず不足していると思う知識・ノウハウ」はどれですか。(当てはまるものすべてに○)

収支改善に関係する知識・ノウハウ	(イ) 貴院に必要な知識・ノウハウ	(ロ) 必要であるにもかかわらず貴院に不足していると思う知識・ノウハウ
a. 経営課題・改善策の設定スキル		
b. 改善策の実行スキル (実行計画の設定、実施状況の管理など)		
c. マーケティング・スキル (地域情報の収集・分析、連携強化など)		
d. 財務会計スキル (資金管理、損益管理など)		
e. 管理会計スキル (部門別収支管理、医療費原価計算など)		
f. 医事会計スキル (制度変更への対応、請求業務の効率化・精度向上など)		
g. 業務運用改善スキル (工学的手法による業務効率化など)		
h. 人事管理スキル (評価制度、賃金体系など)		
i. 物流管理スキル (在庫管理、購買管理、価格交渉など)		
j. 設備管理スキル (省エネ、維持管理費用の削減など)		
k. 広報・情報発信スキル		
l. 顧客情報管理スキル (患者情報、紹介先施設情報の戦略的管理など)		
m. その他 ()		

5. 質の管理の強化に関してご意見をお聞かせください。

5-1. 以下に挙げた質の管理強化のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに○)

具体的施策		貴院で実施し十分な成果をあげている	貴院で実施しているが十分な成果をあげていない	貴院において必要性はないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
1. 医療・サービスの質向上のための管理体制づくり	(1) 診療プロセスの標準化 (※クリニカルパスの導入・運用、診療行為別業務プロセスの標準化など)				
	(2) 委託業務の管理強化 (※委託検査など)				
	(3) 患者・地域からの評価の導入・活用 (※患者満足度管理、地域有識者などによる外部評価の実施など)				
	(4) 患者サービス向上のための患者情報の活用 (※患者の希望、症状に応じたきめ細やかな対応など)				
2. 医療・サービスの質向上のための制度・環境づくり	(5) 能力開発・技術向上のための環境づくり				
	(6) 医療・サービスの質を改善し続ける職場環境づくり				
	(7) 外部評価の活用、認証の取得 (※ISO9000 シリーズの認証取得など)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。(当てはまるもの1つに○)

1. 有効である 2. 有効とは考えていない(理由:)

5-2. 以下に挙げた質の管理強化に係る知識・ノウハウについて、「貴院に必要な知識・ノウハウ」、および、「貴院に必要であるにもかかわらず不足していると思う知識・ノウハウ」はどれですか。（当てはまるものすべてに○）

医療・サービスの質管理の強化に関する知識・ノウハウ	(イ) 貴院に必要な知識・ノウハウ	(ロ) 必要であるにもかかわらず貴院に不足していると思う知識・ノウハウ
a. 品質管理スキル（患者視点に基づく目標水準の設定など）		
b. 技術管理スキル（専門技術の体系化・標準化など）		
c. 人的資源管理スキル（能力開発など）		
d. 業務リスク評価・管理スキル（事故・過誤の予防管理）		
e. マーケティング・スキル（患者・家族のニーズ把握）		
f. 情報管理・データベース管理スキル		
g. 患者・家族とのコミュニケーション・スキル（接遇・説明スキルなど）		
h. その他（ ）		

6. 診療体制の強化に関してご意見をお聞かせください。

6-1. 以下に挙げた診療体制強化のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに○)

具体的施策	貴院で実施し十分な成果をあげている	貴院で実施しているが十分な成果をあげていない	貴院において必要性がないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
(1) 診療スタッフの戦略的採用 (※他施設と差別化できる診療技術を有するスタッフの採用など)				
(2) 能力開発・技術の向上のための環境づくり				
(3) 地域連携の活用 (※他の診療所・病院との連携強化など)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。(当てはまるもの1つに○)

1. 有効である 2. 有効とは考えていない(理由:)

6-2. 以下に挙げた診療体制の強化に係る知識・ノウハウについて、「貴院に必要な知識・ノウハウ」、および、「貴院に必要なにもかかわらず不足していると思う知識・ノウハウ」はどれですか。(当てはまるものすべてに○)

診療体制の強化に関する知識・ノウハウ	(イ) 貴院に必要な知識・ノウハウ	(ロ) 必要であるにもかかわらず貴院に不足していると思う知識・ノウハウ
a. 人事管理スキル（採用など）		
b. 業務改善スキル（業務プロセスの分析・改善スキルなど）		
c. 技術管理スキル（専門技術の体系化・標準化など）		
d. その他（ ）		

7. リスク管理の強化に関してご意見をお聞かせください。

7-1. 以下に挙げたリスク管理強化のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに○)

具体的施策	貴院で実施し十分な対応ができていない	貴院で実施しているが十分な対応ができていない	貴院において必要性がないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
(1) 医療事故・過誤の予防 (※インシデントやアクシデントの把握など)				
(2) 医療訴訟における経済的損失の最小化 (※日医保険、民間保険の活用、患者クレーム対応など)				
(3) 社会的信用の維持・向上 (※法令の遵守、情報開示・マスコミ対応の強化、風評被害対策など)				
(4) 情報管理上のリスクへの対応 (※個人情報の漏洩やデータの改ざん・棄損の抑止など)				
(5) 財務リスクへの対応 (※運転資金を中心とした資金管理の充実、未収金対策など)				
(6) 環境リスクへの対応 (※適正な廃棄物処理のための体制強化・設備投資など)				
(7) 雇用リスクへの対応 (※採用リスク低減のための対応、セクシャル・ハラスメントの抑止など)				
(8) 自然災害リスクへの対応 (※施設の災害時ライフラインの確保、災害時の資材調達ルートの確保など)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。(当てはまるもの1つに○)

1. 有効である 2. 有効とは考えていない(理由:)

7-2. 以下に挙げた診療体制の強化に係る知識・ノウハウについて、「貴院に必要な知識・ノウハウ」、および、「貴院に必要であるにもかかわらず不足していると思う知識・ノウハウ」はどれですか。（当てはまるものすべてに○）

診療体制の強化に係る知識・ノウハウ	(イ) 貴院に必要な知識・ノウハウ	(ロ) 必要であるにもかかわらず貴院に不足していると思う知識・ノウハウ
a. 医療制度、各種法規に関するノウハウ		
b. 医療過誤・事故の防止スキル		
c. クレーム・訴訟対応スキル		
d. 資金管理スキル（短期および中長期的な資金繰り予測など）		
e. 広報・情報発信スキル		
f. 情報管理スキル（セキュリティ対策など）		
g. リスク評価・予測スキル（問題発生の予防）		
h. 危機管理スキル（問題発生時の被害最小化スキル）		
i. その他（ ）		

8. 技術革新への対応、施設・設備・機器・ITの整備に関してご意見をお聞かせください。

8-1. 以下に挙げた技術革新への対応、施設・設備・機器・ITの整備のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに○)

具体的施策		貴院で実施し十分な成果をあげている	貴院で実施しているが十分な成果をあげていない	貴院において必要性がないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
1. 技術革新への対応	(1) 最新技術の適正な導入 (※低侵襲治療技術の導入など)				
	(2) 先端技術を核とした事業展開				
2. 建物・設備・機器・ITの整備	(3) 建物の全面建て替え				
	(4) 建物の増改築・部分改修 (※改修、内部レイアウトの変更など)				
	(5) 設備の更新 (※エネルギー設備・空調設備の更新、駐車場の増設など)				
	(6) 医療機器の新設・増設・更新				
	(7) 情報システムの導入 (※電子カルテシステムの導入、医事会計システムの更新など)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。（当てはまるもの1つに○）

1. 有効である 2. 有効とは考えていない（理由： ）

8-2. 以下に挙げた施設・設備・機器・ITの整備に関する知識・ノウハウについて、「貴院に必要な知識・ノウハウ」、および、「貴院に必要であるにもかかわらず不足していると思う知識・ノウハウ」はどれですか。（当てはまるものすべてに○）

技術革新への対応、施設・設備・機器・ITの整備に関する知識・ノウハウ	(イ) 貴院に必要な知識・ノウハウ	(ロ) 必要であるにもかかわらず貴院に不足していると思う知識・ノウハウ
a. 技術マーケティング（事業性評価、技術調査・動向予測など）		
b. 技術評価（安全性・信頼性分析など）		
c. 施設・設備などの投資計画立案スキル（投資回収計画、費用対効果分析など）		
d. 施設計画管理スキル（機能・運営面からみた施設要件の作成、全体工程管理、契約・発注管理など）		
e. IT導入ノウハウ（投資規模・活用目的・導入範囲の検討、システム設計要件の作成、導入技術・仕様の検討など）		
f. 資金調達スキル（資金調達スキーム・返済計画の立案、対外交渉など）		
g. その他（ ）		

9. 資金調達の強化に関してご意見をお聞かせください。

9-1. 貴院は一般的な資金調達手法（銀行からの資金調達など）に満足していますか。（当てはまるもの 1 つに○）

1. 満足している 2. 満足していない 3. どちらともいえない

9-2. あなたは一般的手法に限らない資金調達手法全般に関して関心をお持ちですか。また、どの程度理解していますか。（当てはまるもの 1 つに○）

1. 関心があり十分に理解している 2. 関心はあるが十分に理解しているとはいえない
3. 関心はない

9-3. 以下に挙げた資金調達手法は、いずれもわが国において今後の普及が期待されているものです。これらのうちで貴院が十分に理解している資金調達手法はどれですか。また、貴院が関心をもつ資金調達手法はどれですか。当てはまるものに○を付けてください。（当てはまるものすべてに○）

今後の普及が期待される資金調達手法	十分に理解している資金調達手法 （※当てはまるものすべてに○）	関心がある資金調達手法 （※当てはまるものすべてに○）
(1) 医療機関債の発行 （※小口多数の資金提供者から直接的に資金を確保する方法）		
(2) 第三者機関による医療機関の格付けを活用した資金調達		
(3) プロジェクト金融 （※担保、信用力ではなく、事業の収支からの返済を条件に融資を受ける方法）		
(4) 固定資産の流動化 （※土地、建物を売却し、その代り金を手許資金として確保する方法）		
(5) 診療報酬の債権化 （※診療報酬債権を早期に現金化する方法）		

その他、上記以外に関心を持たれている資金調達方法がありましたらお聞かせください。

()

10. 経営管理体制の強化に関してご意見をお聞かせください。

10-1. 経営管理体制強化の根本にあるテーマとして経営継承者の確保・育成が挙げられると考えられますが、経営継承者の確保・育成は貴院では喫緊の課題になっていますか。(当てはまるもの 1つ に○)

1. 喫緊の課題である 2. 特に喫緊の課題とはなっていない

10-2. 以下に挙げた経営管理体制強化のための施策のそれぞれについてお聞かせください。

①それぞれの施策についての貴院の取り組み状況をお聞かせください。(それぞれについて当てはまるものの1つに○)

具体的施策		貴院で実施し十分な成果をあげている	貴院で実施しているが十分な成果をあげていない	貴院において必要性がないために実施していない	貴院において必要性はあるが実施できていない
1. 経営管理の人材・組織強化	(1) 経営企画の強化 (※事業戦略・経営計画を担当するアドバイザー・コンサルタントの活用、専門人材の採用、育成など)				
	(2) 法人化・法人格の見直し				
2. 経営管理の環境整備	(3) 目標管理の強化 (※業績目標の設定・達成管理)				
	(4) 経営情報・データ基盤の整備 (※経営指標の整備、定期的モニタリング機構の確立)				
	(5) 収支管理・原価管理の強化 (※事業・組織・部署・診療分野に対応する管理など)				
	(6) 税務管理の強化 (※消費税対策など)				
	(7) 事業承継に向けた対策 (※相続税対策など)				

②以下は「実施しているが十分な成果をあげていない」施策または「必要性はあるが実施できていない」施策としてお選び頂いたものです。これらの施策を有効に実施するにあたり、人材育成事業は貴院にとって有効だと思いますか。（当てはまるもの1つに○）

1. 有効である 2. 有効とは考えていない（理由：_____）

1.1 医療経営に携わる人材の育成に関してご意見をお聞かせください。

最後に、ここまでの内容を踏まえ、あなたのご意見をお聞かせください。

(1) 貴院の経営において人材・体制・経営ノウハウの強化が今後必要だと思いますか。(当てはまるものの1つに○)

- | | |
|---|---------------------------|
| ●経営強化に向けた体制の整備 (外部アドバイザー・コンサルタントの活用を含む) | → 1. 必要だと思う 2. 特に必要だと思わない |
| ●経営強化の担い手となる人材の育成 | → 1. 必要だと思う 2. 特に必要だと思わない |
| ●経営ノウハウの強化 | → 1. 必要だと思う 2. 特に必要だと思わない |

(2) 現在さまざまな機関が医療経営に関する教育や研修を行っていますが、あなたまたは職員の方が受講する場合、どのような機関が望ましいと考えますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 大学・大学院 (医学系・看護学系) | 2. 大学・大学院 (ビジネススクール・経営系) |
| 3. 医療関連団体 | 4. 医療コンサルタント会社 |
| 5. 専門ノウハウをもつ他業種・他産業 | |
| どの業種・産業に () どのような内容を () | |
| 6. その他 () | |

(3) あなたまたは職員の方が医療経営に関する教育や研修を受講する場合、どの時間帯の受講を希望しますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---------|---------|-------|----------|
| 1. 平日昼間 | 2. 平日夜間 | 3. 休日 | 4. わからない |
|---------|---------|-------|----------|

(4) あなたまたは職員の方が医療経営に関する教育や研修を受講する場合、どのくらいの期間が適切であると考えますか。

①短期型の場合 (当てはまるもの1つに○)

- | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 1. 2～3日 (約20時間) | 2. 1週間 (約40時間) | 3. 2週間 (約80時間) | 4. 1か月 (約160時間) |
| 5. その他の期間 () | 6. 短期型は適切でない | 7. わからない | |

②中・長期型の場合 (当てはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------------------|----------------|
| 1. 1か月 (約20時間) | 2. 3か月 (約40時間) | 3. 6か月 (約80時間) |
| 4. 1年間 (約160時間) | 5. 1年以上 (1～3年間の学位授与型プログラムなど) | |
| 6. その他の期間 () | 7. 長期型は適切でない | 8. わからない |

(5) 医療経営に関する教育や研修を行う場合、あなたは以下に挙げた教育形態のうちどれが適切であると考えますか。(当てはまるものすべてに○)

教育形		適切だと考える教育形態 (※当てはまるものすべてに○)
講義形式	教室等での講義	
	自宅等からの e-learning・通信教育	
演習形式	教室等でのケーススタディ	
	他施設等での体験学習	